

民生文教分科会

令和6年度袋井市一般会計
歳入歳出決算認定
〈デジタル田園都市国家構想交付金〉

問 まちじゅう図書館推進事業の成果は。また、事業の目的のひとつである、児童生徒の「知りたい」「学びたい」ニーズに応えることばできているのか。

答 まちじゅう図書館事業については、利用者から「便利になった」「自分で貸出・返却処理ができ、待ち時間が短くなってうれしい」との声が聞かれ、大変好評である。貸出・返却手続きの時間を短縮することで、混雑の解消が図られている。また、学びのニーズへの対応については、子どもたちや教員から「市立図書館の本を学校図書館で取り寄せ、返却ができるのは便利」「貸出機や検索機により学校図書館が最先端になってうれしい」との声がある。児童生徒の利用件数から見ても、まちじゅう図書館事業により、学びのニーズへの対応はできていると考えている。

令和6年度袋井市一般会計
歳入歳出決算認定
〈成人保健事業費〉

問 静岡多目的コホート事業袋井健康長寿研究「ふくけん」の今後の継続は。

答 この事業は、静岡県が静岡社会健康医学大学院大学に委託して実施したコホート事業である。今後については、まずは令和5年度・6年度の健診結果を相対的に分析・評価し、約5年後に同じ受診者がどういった健康状態にあるかを追跡調査するという予定である。追跡調査についても市として協力をしていこうと考えている。



袋井南中学校図書館 貸出の様子

建設経済分科会

令和6年度袋井市一般会計
歳入歳出決算認定
〈労政費〉

問 小学生のお仕事体験運営委託料について、参加者からの声は。また、市内4中学校では、2年生の職場体験に取り組んでいる。高校生には、産業未来課で企業説明会や見学バスツアーを開催している。そうした中で、小学校、中学校、高校と連動した職業観や勤労観を育むプログラムを創る考えはあるのか。

答 小学生のお仕事体験は、12カ所の事業所で実施し、前年に引き続き参加した4人を含む36人が参加した。参加小学生からは、楽しかったというような声を聞いており、受け入れをした事業所からも高い評価を頂いているので、事業は継続していきたい。なお、小学校、中学校、高校との連携の可能性については、職業観の醸成が大事であるため、教育委員会や、市内店舗などと調整をしながら検討していきたい。

令和6年度袋井市一般会計
歳入歳出決算認定
〈都市計画総務費〉

問 森町袋井インター通り線について、整備に向けビジョンの共有を図っていききたいとのことだが、地元をはじめ、県、森町とどのようにビジョンの共有を図っていくのか。

答 本市には、北から新東名高速道路、東名高速道路、国道150号が平行に走っている。それらの路線を縦に貫く路線なので、産業面においても、市民が移動する際にも利便性があり、様々な活動に利益がある。路線整備を進めることによって、メリットがあることをきちんと伝え、整備促進につなげていきたい。



上空から見た
森町袋井インター通り線整備予定地